

てらこし和洋の活動報告

白山石川医療企業団議会 監査委員として意見を述べた

意見 平成26年度の松任石川中央病院の経営状況は未処分利益剰余金14億7500万円余りであり、健全経営が確保されたことを評価しました。今後とも、地域住民が安心して暮らすことができるまちづくりに向け、業務改善及び経費節減など効率的な運営に努めてほしいと申しあげました。また、つるぎ病院は、1億6450万円余りの純損失であり、今後は、より一層の効率的な運営に努めてほしいと意見しました。

注釈 白山石川医療企業団とは、白山市、野々市市と川北町で構成する一部事務組合(特別地方公共団体)です。市と同様に地方自治法の規定に基づく議会(企業団議会)が設置され、公立松任石川中央病院、公立つるぎ病院、吉野谷・中宮・白峰診療所に関する条例や予算、経営状況等について審議を行います。
企業団議員の定数は13名(白山市9名、野々市市3名、川北町1名)で、それぞれの議会の中から選ばれています。

神奈川大学同窓会(宮陵会石川県支部の開催) (平成27年10月10日) ホテル金沢にて

神奈川大学は、昨年7月に石川県と、相互に学生の就職活動を支援し、県内企業の人材確保・産業の活性化を図ることを目的として、「学生U・Iターン就職促進に関する協定」を締結しました。(京都女子大学と同時に石川県第1号であります。石川県では数校の大学と協定を結んでいます)



てらこし和洋のプロフィール

昭和33年3月4日生まれ
昭和48年3月 白山市立鶴来中学校卒業
昭和51年3月 県立金沢錦丘高等学校卒業
昭和55年3月 神奈川大学経済学科卒業
平成7年4月～ 旧鶴来町議会議員
平成17年3月～ 白山市議会議員
平成19年3月～20年3月 白山野々市広域事務組合議会議長
平成23年3月～24年3月 白山市議会副議長(第7代)
平成25年3月～26年3月 白山石川医療企業団議会議長
平成26年3月～27年3月 白山市議会議長(第10代)

主な役職

白山市サッカー協会会長/白山市相撲連盟会長/石川県フィンランド友好協会副会長/石川県サッカー振興議員連盟会員/クレイニングラウンドゴルフクラブ会長/元秋田犬保存会石川県支部展覧会名誉会長

広報広聴委員会委員長として 優秀賞表彰を受ける(平成27年12月15日)

平成23、24年と毎日新聞市町村広報紙コンクールの優良賞を受賞しましたが、今回は前回より良い表彰を頂きました。(市町村議会の議会紙では、白山市議会が1番でありました。平成24年の受賞時も委員長を務めました)今後とも、市民に親しまれる、理解される、市民と歩む議会となるよう広報広聴活動を通して尽力してまいります。



写真毎日新聞から
(12月16日掲載)

第10回 全国市議会議長会研究フォーラム in福島(平成27年11月18、19日)福島県福島市にて

五百旗頭真熊本県立大学理事長から「大震災からの復興と備え」と題する基調講演を聞き、その後、城本勝NHK福岡放送局局長をコーディネーターに、大滝精一東北大学大学院教授、役重眞喜子花巻市コミュニティアドバイザー、山下祐介首都大学東京准教授、金井利之東京大学公共政策大学院教授、高木福島市議長をパネリストとして「震災復興・地方創生の課題と自治体の役割」をテーマにパネルディスカッションが行われ。翌19日には、河村和徳東北大学准教授をコーディネーターに、伊藤陸前高田市議会議長、熊谷気仙沼市議会議長、平田南相馬市議長をパネリストとして「震災復興と議会～現場からの報告」をテーマとする課題討議が行われました。

ちなみに白山市議会からは3名参加し、災害に対して議会の対応を勉強しました。



議会での役職

予算常任委員会委員長(初代)/広報広聴常任委員会委員長
産業建設常任委員会委員/地方創生特別委員会委員
白山石川医療企業団議会監査委員

てらこし和洋後援会事務所

白山市議会議員
てらこし かずひろ
寺越 和洋
後援会事務所
〒920-2146 白山市日向町和110番地 TEL・FAX 076-272-2789

●E-mail terakos@asagatv.ne.jp
●メールアドレス terakoshikazu@docomo.ne.jp
●メールアドレス terakoshikazu@gmil.com

白山市議会議員

てらこし和洋

白山市議会通信

2016年 2月号



梅の花が開き始める今日この頃、貴台始めご家族の皆様方におかれましては、益々ご清祥にてお過ごしのこととお慶びを申し上げます。

さて、新しい年もひと月が経ち、皆様におかれましては健やかな穏やかなお正月を過ごされたかと存じます。白山市も誕生12年目に入りました。徐々にではありますが、真の白山市として進んでいると思います。

さて、国のほうは、安部政権の中、8年振りに日本で開催される伊勢志摩サミット、7月に行われる参議院議員選挙、そしてアメリカ大統領選挙など。注視していかねばなりません。

また、石川県においては、新幹線開業効果の光と影の中、影の部分の直しに谷本知事の手腕に期待が寄せられています。同時に新幹線の以西延伸の問題や小松空港発着便の問題等あります。その中で、2020年の東京オリンピック・パラリンピック、2019年ラグビーワールドカップの日本開催、2018年隣県の福井県で開催される国民体育大会の波及効果に期待されます。

その中で、我が白山市は、昨年5月の尾口地域の中ノ川上流の土砂崩壊による手取川の濁水問題や夏場の降水量の少なさの影響により地下水の水量不足が、住民生活に影響を及ぼしたようであり、改めて「水」の必要性・重要性を認識したところであります。さらに今年の暖冬化より夏場の水不足が危惧されるところでありますが、住民の皆様が安心して暮らせるため、注視していききたいと思います。

白山市の財政は、ジャパンディスプレイの白山市進出や、日機装の本社機能の白山市移転、中村留精密工業やEIZOの工場増設、山島工業団地への企業の進出など。法人税の増収に期待がされる状況であります。

しかしながら、合併に関してのアメとムチの中で、国からの交付税の段階補正が2年目に入ります。平成32年度には段階補正終了し41億円交付税が減額されますので

今後さらに効率的な財政運営が必要となってきます。今後は、人口類似市と同額の一人当たり40万円位の予算編成となっていくと思います。今後とも厳しさの陰が見え隠れする財政状況ではありますが、無駄遣いの無い税の使途に注視していきます。

そして、北陸新幹線金沢開業効果や通行料金が半額となった白山白川郷ホワイトロードの交通量増大による交流人口拡大の経済効果を白山市にも活かしていかなければなりません。

さらに、2回目の広報広聴常任委員長として、毎日新聞社主催による近畿市町村広報紙コンクールでは、前回の表彰よりランクアップした表彰をいただきました。今後さらに、これまで以上に市民の皆さんと議会の距離を縮める親しまれる議会として議会だよりの発行や議会報告会の企画立案など努めています。

そして、予算常任委員長として、さらなる地域間の格差是正や地域間の距離を縮める施策を始め、今後は施設の計画的な改修や建設など、市民の皆さんが使いやすい統廃合に努めてまいります。

さらに災害列島日本と言われるよういつどこで予期せぬ災害が発生するわけであり、安心して暮らすため安全なるまちづくりの推進を図ってまいります。また、今後は、いろんな機会を通じて皆様方から市政に対するご意見を頂戴いたしたく思います。そして、皆様のご意見を活かして市民の負託に応えていきたいと思ひます。

今後さらなる、ご指導ご鞭撻を賜りますようお願いを申し上げ、ご家族皆様方のご健康とご多幸を心よりご祈念申し上げ、ご挨拶といたします。



関西鶴来会(11月1日)



鶴来町から関西へ移住された方との懇談会

広報広聴委員会 視察(11月10・11日)



さらなる議会改革へ 愛知県津島市視察

石川県フィンランド協会(11月14日)



フィンランド共和国からの留学生と意見交換

寺越和洋の主な活動